

第30回 全国消防救助技術大会



主催 財団法人 全国消防協会

後援 総務省消防庁・全国消防長会

助成 日本財団

—— 新世紀への挑戦 ——

Rescue Challenge in Tokyo



2001年8月8日

陸上会場 東京消防庁豊洲訓練場
水上会場 東京辰巳国際水泳場

「新世紀への挑戦」 Rescue Challenge Tokyo をスローガンに、第三〇回全国消防救助技術大会が去る八月八日、東京都の東京消防庁豊洲訓練場において、中川消防庁長官をはじめ多くの来賓を迎えて盛大に挙行された。

この大会は、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識・技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研さんするため、昭和四十七年から日本財団の助成を受けて毎年開催しているものである。今大会は三〇回目の記念すべき大会となるとともに二一世紀初の大会であり、大会スローガンのとおり、新世紀における消防救助のさらなる飛躍を期待する大会となった。

第一回、第四回大会の開催から、実に二六年ぶり三回目の大会開催となる東京都は、日本の首都として江戸開闢以来四〇〇年の歴史を有し、一、二〇〇万人市民が暮らす世界に冠たる国際都市であり、二一世紀を迎えてさらに活力と魅力にあふれ、人、もの、情報等が交流する「千客万来の世界都市・東京」の実現に向けた都市づくりが進められている。

さて、大会当日は、猛暑が続いた七月とは打って変わって真夏を忘れさせるような爽やかな日となったが、これから檜舞台に立つ隊員たちの訓練に臨む意気込みや救助に対する情熱は、まさに炎天下の如く熱く燃えさかっていたに違いない。また、早朝より全国各地から応援に駆けつけた一般の方や消防関係者など約三、〇〇〇名で埋め尽くされた会場内は、開会前から熱気と興奮に包まれ、熱き大会が始まるのを今か今かと待ち構えていた。

午前九時、東京消防庁音楽隊の軽快な演奏に合わせ、全国九地区支部から選抜された九三九名の精鋭たちが堂々とした入場行進を行い、大会副会長である河内横浜消防局長の開会宣言で二一世紀最初の大会の幕は開いた。

開会式では、国旗・大会旗の掲揚後、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げ、続いて、大会会長である杉村財全国消防協会会長、石原東京都知事のあいさつ、中川消防庁長官、徳田財日本消防協会会長（代理・杉原理事長）の祝辞と続き、多数の方々からの祝電を代表して片山総務大臣からの祝電が披露された。さらに、大会審判長の渡邊北九州市消防局長

による審判長指示の後、出場隊員を代表して東京消防庁の竹内展胤隊員が力強く隊員宣誓を行った。

開会式の後、陸上会場では三宅島芸能同志会による「三宅島神楽木遣り太鼓」とそつこん町田'98による演舞「江戸の華」が、また水上会場では東京シンクロクラブによる「シンクロロイヤルズドスイミング」が披露され、華やかな演技が会場内の張りつめた雰囲気をもたげた。

いよいよ待ちに待った訓練の開始である。隊員たちの眼差しは一段と鋭くなり、出番に臨む。さすがに全国から選りすぐられた救助の精鋭たちばかりである。俊敏でしなやかな動き、強靱な体力、磨き抜かれた技を次々と披露していく。隊員が訓練を実施する度に、熱心に見守る観覧席からは激励と慰労の拍手が絶え間なく沸き起り、会場内の盛り上がりはピークに達していった。

この模様は、東京都の自治体衛星通信により全国へ配信され、各自治体においても隊員たちの勇姿がリアルタイムに映し出された。また、会場周辺では、隊員たちが互いの健闘を讃え合う姿や再会を誓う姿が随所で見受けられ、救助隊員の友好の輪は、新世紀においてより一層大きなものとなった。

すべての訓練が終了し、未だ熱気と興奮がさめやらぬ中、東京消防庁音楽隊とカラーガイズ隊により良き日本を感じさせる演奏と息の合った演技が披露されると、先程まで息を呑んで訓練を見つめていた会場内は、にこやかな笑顔に包まれた「和」の空間へと変わっていった。

閉会式では、大会副会長である中本島市消防局長から「規律厳正かつ士気旺盛な活動を実施され、大変、意を強くしたところである。本大会に出場するまでの間、実践的な訓練の積み重ねによる救助技術と強靱な体力の習得の成果が、本日、遺憾なく発揮されたものと考え、地域住民の消防救助に対する期待の高まりの中、今後より一層の救助技術の錬磨向上に努めていただきたい」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が中村東京消防庁総務部長から次期開催地の石原名古屋市消防局長に引き継がれ、堅い握手が交わされた後、大会副会長である山口徳島市消防局長が閉会を宣言すると、真夏の夜空に音高らかに花火が打ち上げられ、第三〇回大会は盛会のうちに幕を閉じた。

猛暑の中、会場設営及び大会運営に当たられました東京消防庁の皆様に対し、衷心より感謝申し上げます。

あいさつ



(財) 全国消防協会

会長 杉村 哲也

本日、ここ東京都において、第三〇回全国消防救助技術大会を開催いたしましたところ、中川消防庁長官殿、石原東京都知事殿をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開会できますことを厚くお礼申し上げます。

さて、この大会は、各種災害から地域住民の安全を守るため、全国から選抜された救助隊員が一堂に会し、救助技術の向上と錬磨、研さんを図ることを目的として、昭和四十七年から日本財団の助成を受けて実施しているものであり、今回、三〇回目の記念すべき大会を迎えました。

この間、我が国の消防救助技術は、隊員の皆さんのためまね訓練の積み重ねと、各消防本部並びに関係機関の各種資器材等の改良・開発、活用技術の研究により、着実に向上しております。

また、各隊員は、本大会への参加を通じ、隊員相互の交流をはじめ、強靱な体力と精神力の養成など、多大な成果を挙げてまいりました。

これらの成果は、国内の災害における緊急消防援助隊の活動はもとより、海外での国際消防救助隊の活動に遺憾なく発揮され、高い評価を得ております。

しかしながら、近年における災害の様相は、都市化の進展や生活様式の多様化等に伴い、複雑・大規模化の傾向にあり、消防機関の行う救助活動もこれらの社会事象を反映して年々増加しております。

また、昨年来、有珠山、三宅島の噴火災害をはじめ、豪雨災害や地震災害等が相次いで発生し、自然災害の脅威が住民の生活に大きな不安を与えております。

このような状況から、地域住民の安全に対する関心は一段と高まっており、消防に寄せる期待はますます大きくなっております。

参加隊員の皆さんは、本日の記念すべき第三〇回大会において、これまでの訓練成果を存分に発揮し、所期の目標を達成するとともに、今後、より一層救助技術の錬磨・向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう切望するものであります。

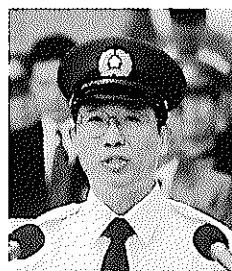
結びに、ご列席の皆様のますますのご健勝を祈念いたしまして挨拶いたします。



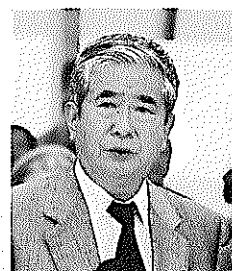
開会宣言
横浜市消防局長
河内 輝雄



祝 辞
(財)日本消防協会会長(代理)
杉原 正純 理事長



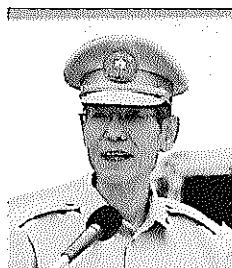
祝 辞
消防庁長官
中川 浩明



あいさつ
東京都知事
石原 慎太郎



閉会宣言
徳島市消防局長
山口 勝秀



次期開催地あいさつ
名古屋市消防局長
石原 秋春



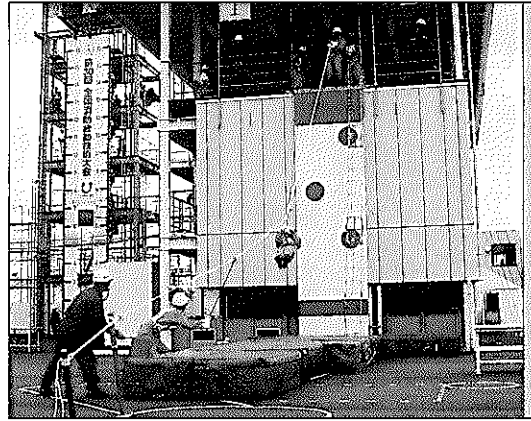
講 評
広島市消防局長
中本 信雄



審判長指示
北九州市消防局長
渡邊 崇浩

◆陸上の部◆

斜めブリッジ救助(団体)



五人一組(要救助者を含む)で、三連はしごを活用して高さ七メートルの塔上に進入し、救助ロープで斜めブリッジ線を展開して要救助者を救出した後、脱出する。高所から迅速に要救助者を救出するための訓練。

〔標準所要時間一四〇秒〕

表彰者

【東北】

二戸地区広域行政事務組合

塩釜地区消防事務組合

高峯 将喜
十文字和雄
沢田 和広
獅子内孝行
高田 正昭
郷右近隆二
我孫子 忍
石川 勲
三島 清史
土井 政宏

【関東】

前橋広域

さいたま市

松戸市(備)

東京消防庁

東京消防庁

相模原市

【東海】

岡崎市

【東近畿】

砺波広域圏

金沢市

植栗 一夫
書上 大典
長谷川朋美
新井 貴彦
小川 昌彦
星野 昌彦
杉内 潔
小島 周一
磯田 公雄
工藤 一也
渋谷 昇
吉田 克弘
高橋 勝利
見並多津夫
横 俊夫
鈴木 康雄
新井 賢一
国吉 大輔
御園生 仁
黒田 正弘
中島 健二
小村 健二
片岡 崇
多和田真貴
保坂 昭仁
林 大吾
出町 友宏
大貫 裕志
近田 政宏
宇佐美 悠
日比 英貴
小栗 宏之
荻野 卓巳
経田 賢一
中村 杜一
干場 就之
宮嶋 秀治
藤井 宏年
大瀬 泰志
蔵田 祐司

【近畿】

枚方寝屋川消防組合

【中国】

岡山市(備)

広島市(備)

【九州】

福岡県南広域消防組合

門村 和仁
木野 裕二
松本 剛
高橋 利昌
山内 崇
清水 剛士
高岡 哲也
前川 章
重松 洋平
山下 裕史
吉田 謙介
斎藤 雅之
光本 直裕
川村 勝之
大畑 昭博
浴井 仁史
濱田 亮三
大谷 洋平
下坂 和輝
松永 和明
田中 秀和
久良木正史
田中 尚宏



はしご登はん(個人)

自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

〔標準所要時間一四秒〕

表彰者

【北海道】

南渡島消防事務組合
砂川地区広域消防組合
北十勝消防事務組合
近藤 誠
高橋 博
佐々木孝之

【東北】

山形市
仙台市(備)
仙南地域広域行政事務組合
黒沼 義之
柳橋 健一

【関東】

小出郷
利根沼田広域
芳賀地区広域行政事務組合
横坂 正巳

【東海】

石岡市
小川・美野里・玉里広域消防事務組合
矢口 昇
山口 延之

【近畿】

市川市(備)
佐倉市八街市酒々井町消防組合
飯嶋 竜平
鎌田 雄一
佐藤 貴
伊東 直人

【東海】

諏訪広域
田方地区消防組合
関 利康
近松 裕二

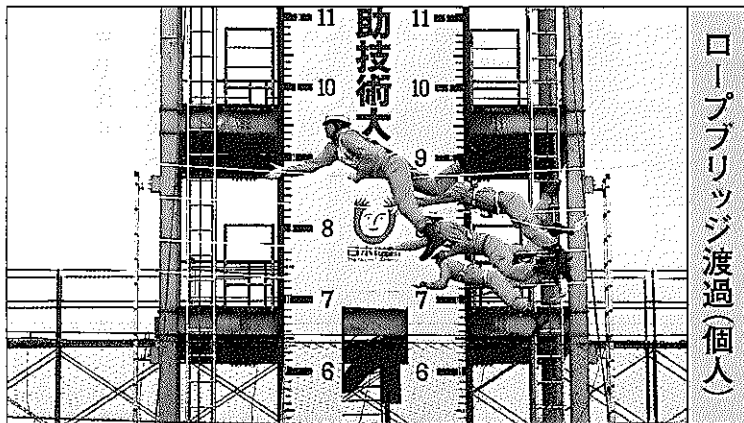
【近畿】

岡崎市
西春日井郡東部消防組合
海部南部消防組合
知多南部消防組合
酒井 亮治
長尾 昌紀
佐藤 弘光
早川 健

【東近畿】

宇治市
宇治市
橋本市
北川 武志
堀 孝典
西坂 通章
辻 大介

水平に展張された渡過ロープ二〇メートル



ロープブリッジ渡過(個人)

八尾市 大谷 佳右
柏原羽曳野藤井寺消防組合 益田 崇史

河内長野市 梶元 直紀

【中国】 鳥取県東部広域行政管理組合(備) 田中 淳

下関地区広域行政事務組合

【四国】 三好郡行政組合 上野 英樹

中芸広域連合 武 邦光

【九州】 佐賀広域(備) 船津 典孝

佐賀広域(備) 森田 康文

大隅肝属地区消防組合 郷原 英行

具志川市 比嘉 憲一

トル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。
【標準所要時間二八秒】

表彰者

【北海道】

室蘭市 咲間 晋

上川南部消防事務組合 田中 智幸

上川南部消防事務組合 坂本 知弥

【東北】 盛岡地区広域行政事務組合 野辺地 誠

釜石大槌地区行政事務組合 大澤 信夫

西村山広域行政事務組合 堀 浩司

仙台市(備) 北園 貴教

小出郷 渡辺 和幸

【関東】 熊谷地区 野口 弘之

入間東部地区消防組合 高山 正之

船橋市(備) 篠田 浩義

安房郡市広域市町村圏事務組合 小谷 武夫

木更津市 富田 勝也

習志野市 風見 利勝

市原市(備) 鈴木 宏樹

旭市外三町消防組合 小林 祥康

東京消防庁 伊藤 隆憲

横須賀市(備) 前田 臣史

上田地域広域連合 大久保 篤

焼津市消防防災局 力石 佑介

藤枝市 加藤 竜司

西宮市(備) 吉田 紀人
宝塚市 長谷川 大成

【中国】 益田広域 三浦 拓

下関地区広域行政事務組合 川邊 孝史

萩地区広域市町村圏組合 田村 真治

【四国】 仲多度南部消防組合 湊 丈憲

鳴門市 田上 圭一

松山市(備) 間 浩高

【九州】 八女 溝田 武生

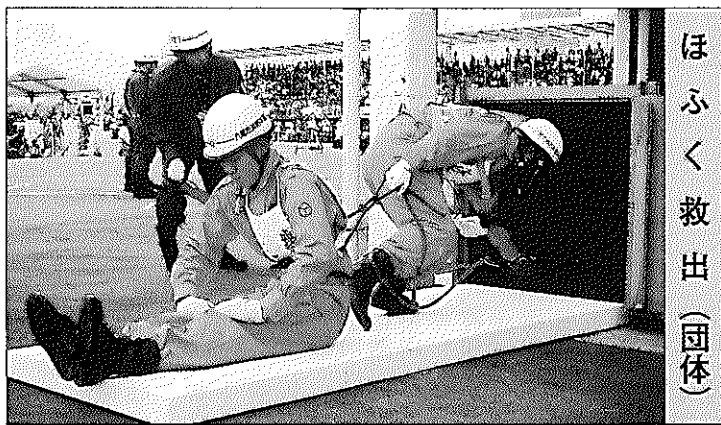
福岡県南広域消防組合 田中 宏明

福岡県南広域消防組合 諫山 正一

八代広域行政事務組合 今尾 武志

八代広域行政事務組合 鍛田 裕一

ほくく救出(団体)



三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの

煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
【標準所要時間七〇秒】

表彰者

【北海道】 札幌市(備) 高橋 和史

三吉 景一

【東北】 大曲仙北広域市町村圏組合 戸島 浩樹

高崎市等広域(備) 小山田 芳成

高橋 秀明

【関東】 大塚 英毅

草加市 井之浦 孝一

狭山市 高橋 純

東京消防庁 伊藤 吾一

川崎市(備) 生方 英和

百田 靖稔

阿部 公晴

千葉 繁

【東海】 松尾 求

東海市 中村 誠

あすけ地域消防組合 小倉 一真

【東近畿】 宮澤 寛史

京都市(備) 折目 高宏

酒井 健司

【近畿】 宮本 旭浩

堺市高石市消防組合 北川 龍彦

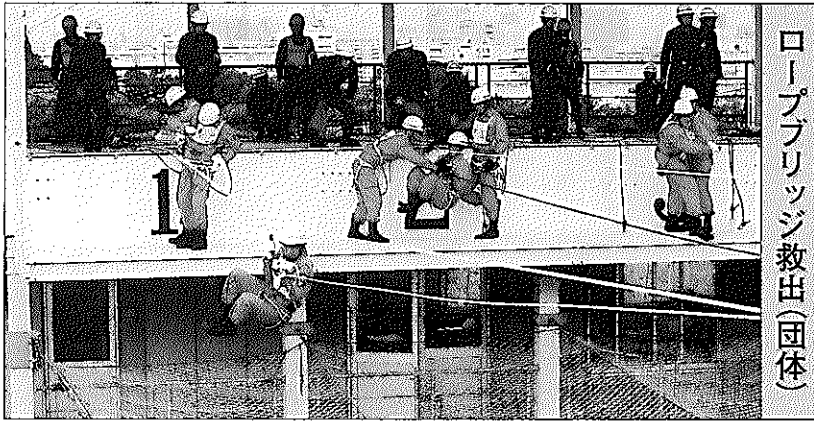
八尾市

岸和田市

【九州】

松浦地区消防組合

辻 忠
金井 武誌
山田 一仁
大田 原和弘
貴田 達也
黒川 道春
山本 健司
大植 秋仁
今田 裕一
山本 秀和
大塚 純司



ロープブリッジ救出(団体)

四人一組(要救助者を含む)で、二人が水平に展開された渡過ロープ(ニOMEートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引

して救出した後、脱出する。要救助者を隣りの建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

【標準所要時間七五秒】

表彰者

【北海道】

旭川市

【東北】

弘前地区消防事務組合

仙台市(局)

塩釜地区消防事務組合

【関東】

黒磯那須消防組合

さいたま市

さいたま市

東京消防庁

東京消防庁

相模原市

長野市(局)

【東海】

岡崎市

本巣消防事務組合

【東近畿】

大津市(局)

吉野広域行政組合

【近畿】

枚方寝屋川消防組合

吹田市

柏原羽曳野藤井寺消防組合

【中国】

鳥取県西部広域行政管理組合(局)

古田 直樹

石河 良介

野口 弘樹

原田 隆三

塩野崎 英基

鈴木 誠一

水崎 厚史

加藤 孝一

大山 竜

白石 繁雄

白川 智也

大熊 正浩

溝口 直純

土川 博久

梶浦 省吾

山元 裕己

田中 直樹

近澤 昌二

森口 博司

大谷 真弘

梶井 淳司

松本 唯嗣

小椋 幸浩

樋口 仁司

吉岡 克典

三ツ川 一彦

笹野 光則

明川 充紀

浦川 久佳

内橋 功

【四国】

高松市(局)

【九州】

天草広域連合

加世田地区消防組合

恵美 平
福家 由造
小前 昭男
内山 裕詞
長尾 弘之
坂井 茂雄
山川 智
松下 幸一郎
田中 規之
迫田 浩幸
有馬 克己
海田 高寛
山口 大樹



ロープ登はん(個人)

塔上から垂下されたロープを壁面を蹴つたり、足にロープを巻き付けることなく、手だけを使って一五メートル登はんする。

〔標準登はん高一五メートル〕

表彰者

〔北海道〕

石狩北部地区消防事務組合

大雪消防組合

〔東北〕

盛岡地区広域行政事務組合

石巻地区広域行政事務組合

南 佐 渡

〔関東〕

熊谷地区

埼玉西部広域

市川市(市)

佐倉市八街市酒々井町消防組合

印西地区消防組合

東京消防庁

逗子市

綾瀬市

〔東海〕

知多南部消防組合

神岡町

〔東近畿〕

金沢市

京都市(市)

〔近畿〕

大阪市(市)

柏原羽曳野藤井寺消防組合

柏原羽曳野藤井寺消防組合

池田市

龍 浩史

山下 健一

〔中国〕

益田広域

萩地区広域市町村圏組合

海部消防組合

引揚救助(団体)

〔九州〕

飯塚地区

直方鞍手広域市町村圏事務組合

八代広域行政事務組合

吉田 剛

石橋 孝一

森田 武

恵庭市

〔東北〕

相馬地方広域

新潟市(市)

〔関東〕

石橋地区消防組合

埼玉県中央広域

東京消防庁

東京消防庁

横浜市(市)

川崎市(市)

相模原市

〔東近畿〕

東近江行政組合

〔近畿〕

大阪市(市)

柏原羽曳野藤井寺消防組合

〔中国〕

下関地区広域行政事務組合

〔四国〕

高幡消防組合

〔九州〕

天草広域連合

須戸 聡

柴田 寛之

志賀 貴史

落合 真一

出口 弘

羽部 浩章

下崎 俊英

御手洗 亮二

北島 紳雄

芝崎 強

武田 光

松田 孝志

猪田 邦清

蒲生 寿之

満田 智明

辻 明人

海野 真司

日比 正明

松川 和幸

実山 良平

角野 剛史

田中 勝彦

阪本 直樹

堀内 敏也

森口 勝二

永野 照和

伊東 幸雄

坂本 和憲

廣渡 敦

内田 吉則

濱崎 孝弘

佐々木 義人

中川 亨

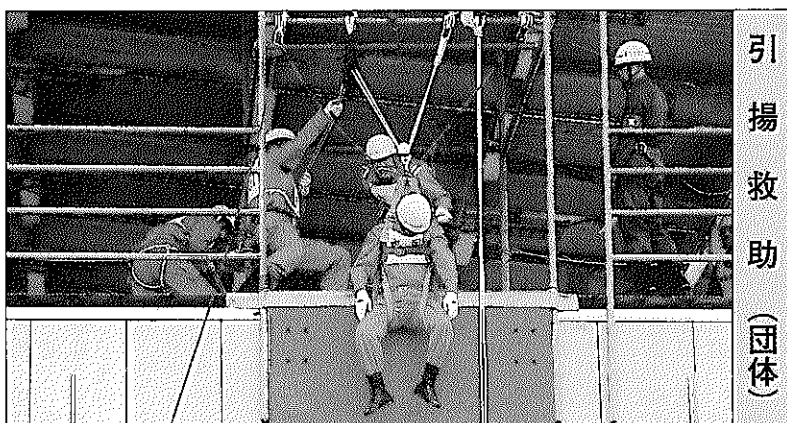
加茂 清貴

柳本 秀明

宮崎 進一

田中 辰巳

池田 裕司



五人一組(要救助者を含む)で二人が空
気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下
し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、
四人で協力して塔上へ救出した後、ロー
プ登はんにより脱出する。地下やマンホ
ール等での災害を想定した訓練。
〔標準所要時間一五〇秒〕

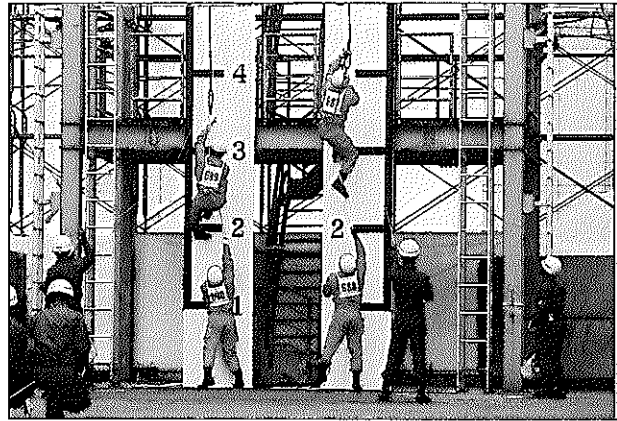
表彰者

〔北海道〕

小樽市

増田 祐司
菅原 嘉伸

ロープ応用登はん(団体)



檜木 昌彦
山下 政敏

表彰者

登はん者と補助者が二人一組で協力し、
器財を使わずに塔上から垂下されたロー
プを一五メートル登はんする。
〔標準所要時間一六秒〕

【北海道】

南渡島消防事務組合

千歳市

【東北】

北上地区消防組合

郡山地方広域消防組合

新潟市(局)

【関東】

太田地区消防組合

野田 敏朗
北畠 大
熊部 康雄
阿部 宏亮
藤村 淳生
安藤 義隆
佐藤 嘉成
今泉 正治
佐藤 博香
飯原 寛
久保田博之

佐野地区広域消防組合
茨城西南地方広域市町村圏事務組合

船橋市(局)

習志野市

旭市外三町消防組合

東京消防庁

諏訪広域

【東海】

豊川市

郡上広域連合

【東近畿】

小矢部市

松任石川広域事務組合

【近畿】

大阪狭山市

芦屋市

北 但

【中国】

安来市能義郡消防組合

萩地区広域市町村圏組合

【四国】

北条市

土佐市

【九州】

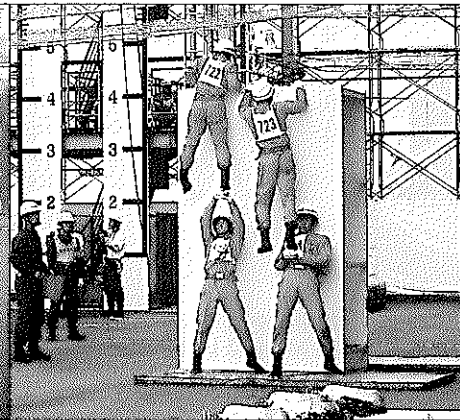
北九州市(局)

平野 吉男
岡 保宏
佐山 大輔
関 宏義
古沢 貴幸
宇佐見浩一
畠山 誠憲
鈴木 祐史
大和田良平
越川 行弘
平野 政康
島田 紀嗣
古橋 功守
小池 晃英
藤森 晃英

北九州市(局)
天草広域連合

福井 良
古屋 俊輔
中村 博行
金子 孝行
山田 玉樹

障害突破(団体)



五人一組(補助者を含む)で四人が緊密
な連携の下、一致協力して「乗り越える」

「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過す
る」の基本動作により五つの障害を突破
する。災害現場の様々な障害を想定した
訓練。
〔標準所要時間一九五秒〕

表彰者

【東北】

福島市

上越地域消防事務組合

【関東】

入間東部地区消防組合

東京消防庁

東京消防庁

東京消防庁

横浜市(局)

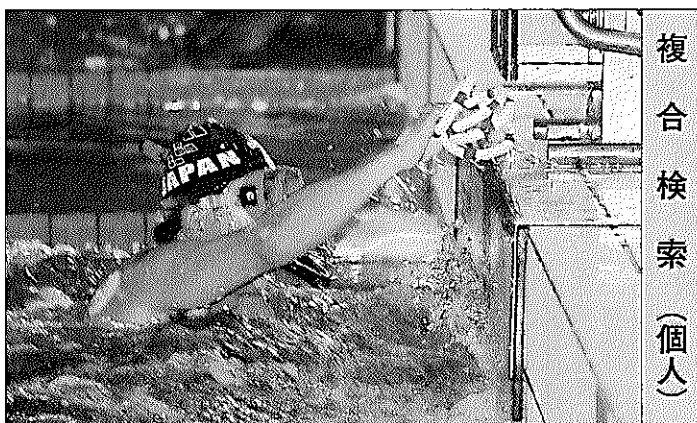
相模原市

前田 耕一
高橋 勝俊
野地 宏樹
大関 淳寛
安斎 裕紀
太田 和彦
小松 章之
岡田 昌也
奈須 武彦
植木 栄一

大野 一郎
濱崎 正仁
平野 正紀
寺崎 正大
今村 隆二
田村 哲也
打越 伸之
野口 智
山本 洋史
倉岡 鉄平
倉住 裕二
神 久仁康
遠藤 久雄
武田 賢二
掛川 鎮
税所 光昭
永田 信
木村 久一
佐々木幸二
磯川 健之
植山 康司
大西 元
札川 喜隆
弦巻 一男
天野 雅巳
児玉 裕隆

◆水上の部◆

複合検索(個人)



マスク、スノーケル、フインを着装し、スノーケリングで障害物(救命浮環)を突破しながら水中に沈められたリング四個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の搜索を想定した訓練。
 【標準所要時間四〇秒】

表彰者

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合

奥沢 真治

【関東】

さいたま市

さいたま市

東京消防庁

東京消防庁

横須賀市(局)

小宮 崇

山名 秀一

北村 功司

佐子 淳一

藤川 幸博

田方地区消防組合

山崎 卓司

【東海】
小牧市

石井 洋行

津市

篠田 昌裕

【東近畿】
伊都消防組合

大東 雄一

【近畿】
大阪(市)局

矢田 雅也

【近畿】
守口市門真市消防組合

宮芝 紀幸

【近畿】
尼崎市(局)

山星 賢一

【近畿】
尼崎市(局)

秋田 尚也

【中国】
賀茂広域行政組合

森岡 弘文

【中国】
海田地区消防組合

永松 康宏

【四国】
高松(市)局

植田 典秀

【九州】
周 桑

十河 由人

【九州】
鳥栖・三養基地区消防事務組合

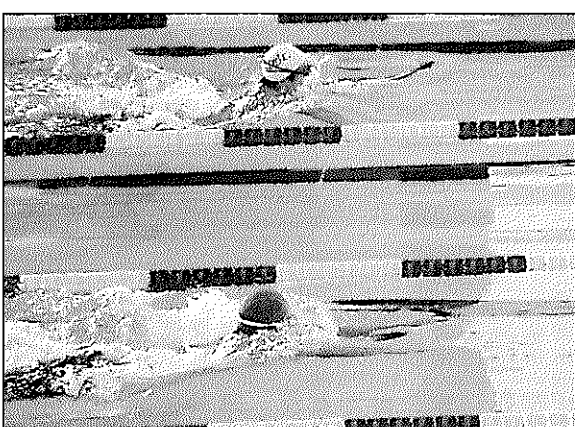
新居田健夫

高遊原南消防組合

松雪 竜次

日置 啓一

基本泳法(個人)



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。
 【標準所要時間四〇秒】

表彰者

【東北】

仙台(市)局

千葉 典史

【関東】

さいたま市

空岡 実

【東海】

越谷市

山下 友之

【近畿】

東京消防庁

竹村 俊幸

【中国】

横浜(市)局

神保 雅聡

【四国】

川崎(市)局

川島 正裕

【九州】

福岡(市)局

辻本 学

【近畿】

大阪(市)局

内山 岩登

【中国】

枚方寝屋川消防組合

藤野 昌男

【東近畿】

松任石川広域事務組合

日下部陽亮

【近畿】

中和広域消防組合

後藤 利嘉

【東海】

各務原市

木下 憲治

【中国】

伊都消防組合

矢田 雅也

【近畿】

大阪(市)局

西川 暢彦

【中国】

枚方寝屋川消防組合

西口 幸仁

【東近畿】

神戸(市)局

笠松 伸武

【近畿】

神戸(市)局

高橋 伸武

【中国】

笠岡地区消防組合

田村 弥久

【東海】

鳥取県東部広域行政管理局(局)

上田 広大

【近畿】

宇部市

田邊 博範

【中国】

讃岐地区広域

岩部 一宏

【東海】

安芸市

藤堂 克二

【九州】

福岡(市)局

松尾 恵太

【近畿】

福岡(市)局

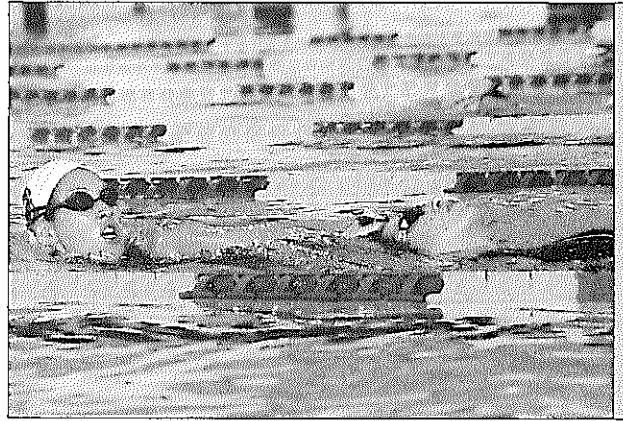
角京之助

【中国】

大隅肝属地区消防組合

中村 隆幸

溺者搬送 (団体)



二人一組(要救助者を含む)で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者(溺者)を注視しながら近づき、チンプルで確保した後、ヘアーキヤーにより救助する。

〔標準所要時間四一秒〕

表彰者

〔北海道〕
札幌市局

〔関東〕
さいたま市

横浜市局

逗子市

相模原市

長野市局

芳賀 和彦
大平 拓司

堀口 進

関根 由佳

秋山 和彦

大城 和仁

福島 英人

菅 慶久

石田 拓也

金子 哲也

武江 三三

雪入 誠司

〔東海〕
名古屋市局

〔近畿〕
大阪市局

枚方寝屋川消防組合

近藤 忍
南 十造

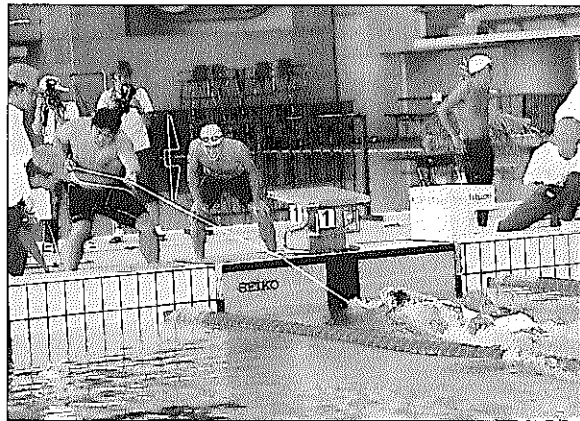
神谷 芳之

阪口 隆司

小嶋 成幸

高見浩一郎

人命救助 (団体)



三人一組(要救助者を含む)で救助者が「三重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキヤーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者(訓練人形)を水面に引き揚げ、救助する。

〔標準所要時間七三秒〕

表彰者

〔北海道〕
札幌市局

三浦 直人

咄下 悟司

中山 英樹

〔東北〕

八戸地域広域市町村圏事務組合

盛 専蔵

奥沢 真治

須藤 聡

勝田 崇

伊東 英明

飯塚 陽介

辻本 学

石黒 将人

小金澤 貴史

北中 勇樹

川原 亮太

八幡 貴紀

岡田 利道

西川 暢彦

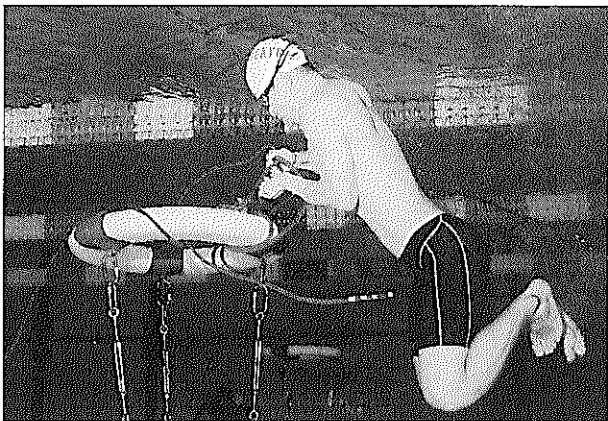
橋本 聡

川崎市局

〔東近畿〕
湖南広域行政組合

〔近畿〕
大阪市局

水中結索 (団体)



三人一組で水中の結索環に、第一泳者

は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

〔標準所要時間二〇秒〕

表彰者

〔東北〕
仙台市局

〔関東〕
東京消防庁

〔東近畿〕
東京消防庁

〔近畿〕
東京消防庁

〔東海〕
名古屋市局

〔東近畿〕
大津市局

〔近畿〕
大阪市局

〔中国〕
賀茂広域行政組合

〔九州〕
人吉下球磨消防組合

西川 慎裕

千葉 典史

酒井 亮

菊地 太

神保 雅聡

佐子 淳一

田宮 慎二

中島 明陽

松本 英文

中川 博至

村上 泰弘

飯田 泰弘

松岡 悟

赤尾 隆光

邊見 晴隆

弓坂 則行

重盛 篤樹

北野 充

村田 哲

杉谷 雅也

小野 亨

香西 辰哉

阿部 浩二

小松 康範

西川 浩明

藤井 満晴

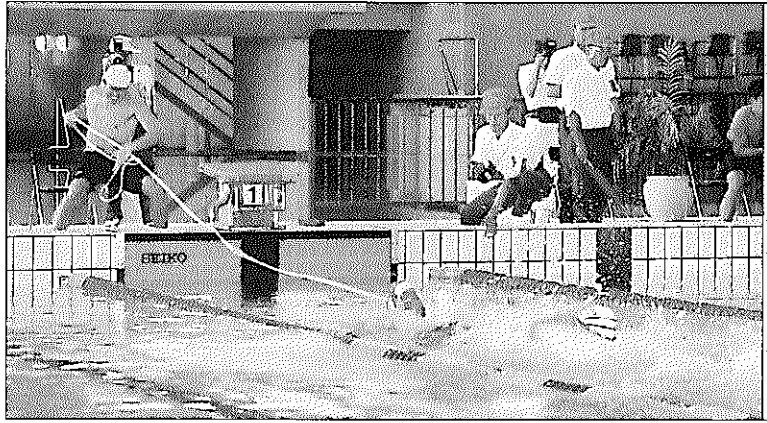
渡部 剛成

牧山 信行

薮 雅彰

中川 博文

溺者救助 (団体)



三人一組(要救助者を含む)で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

〔標準所要時間四三秒〕

表彰者

〔関東〕

東京消防庁

東京消防庁

菊地 太

渡邊 篤史

勝田 崇

飯田 俊行

濱野 賢治

〔東海〕
知多市

〔近畿〕

茨木市

〔九州〕

福岡市(局)

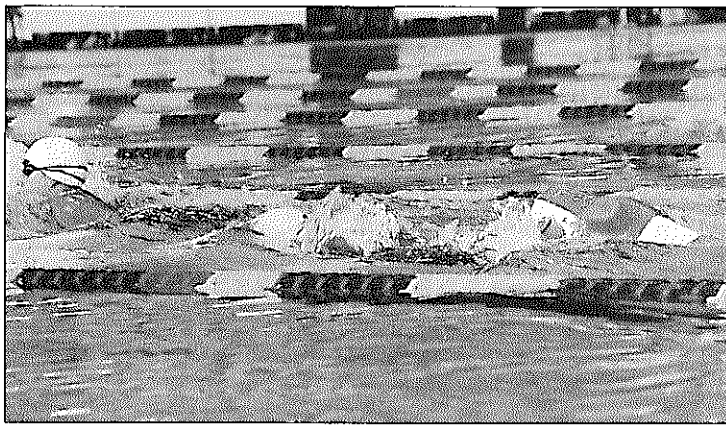
佐賀広域(局)

石原 尋孝
竹内 弘志
篠田 昌裕

小林 幹
小畑 仁孝
大山 常勝

谷 直樹
矢野 誠治
鬼木 広明
徳富 芳文
山口 博文
水田 芳洋

水中検索救助 (団体)



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している

る要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

〔標準所要時間二〇二秒〕

表彰者

〔関東〕
さいたま市

東京消防庁

〔東海〕
小牧市

〔近畿〕
大阪市(局)

神戸市(局)

〔中国〕
賀茂広域行政組合

〔四国〕
東宇和事務組合

〔九州〕
天草広域連合

秋吉 勉

山名 秀一

山下 友之

向井 雅仁

中島 明陽

中川 博至

吉田 英明

伊東 徹

松野 直樹

伊藤 孝雄

藤野 昌男

石井 洋行

浦田 寿

山中 隆行

畠山 裕幸

大瀨 修太郎

高橋 伸武

阿部 浩二

香西 辰哉

有田 達洋

山川 慎吾

永松 康宏

大木 雅行

木原 克公

植木 宏次

坂本 弘治

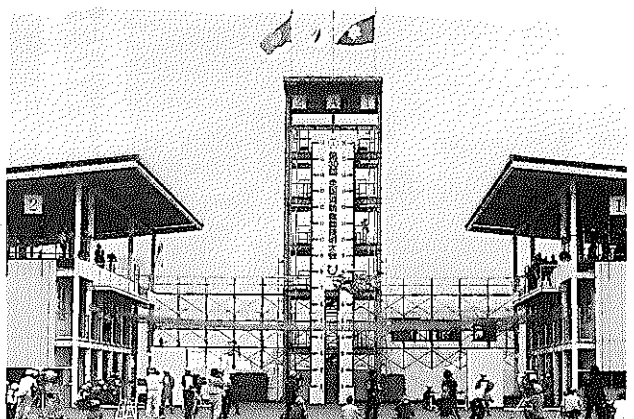
酒井 広一

山本 伸也

茂越 範俊

吉本 賢一

山下 孝幸



インタビュー

インタビューの項目

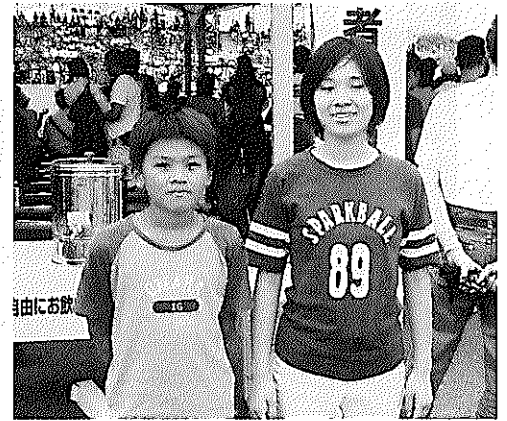
- ① 今回の救助大会を見た感想は？
- ② あなたの持つ消防・救助のイメージは？
- ③ これからの消防隊・救助隊に期待することとは？
- ④ 消防に対する意見等があれば、お聞かせください。

◆黒田めぐみさん(東京都)



- ① 全国から大勢の救助隊員の方々が集まり、力を合わせている姿がとても印象的である。
- ② 自らの身体を酷使し、人々の生命や財産を守ってくれている、とても大変な仕事をしていただいている人たちという感じ。
- ③ 消防の方々の日頃の活躍により、多くの人が救われていると思う。私自身も消防に期待している。
- ④ これからも身体に気をつけて、がんばっていただきたい。

◆古谷武志さん(東京都・左側)



- ① 救助隊の人はカッコイイ。見に来てよかった。
- ② 命がけでとても大変だと思う。やっぱりカッコイイ。自分も将来、消防の仕事をしてみたい。
- ③ がんばってください。
- ④ このような大会があれば、また見に来たい。

◆リオV・ボスナーさん(アメリカ・左側)



◆山本由佳里さん(大阪府・右側)

- ① Wonderful! 職員の士気を高めるためにも、この大会はとてもいいアイデアだ。もっと広報して、大勢の一般の人たちに見に来てもらえば一層よいと思う。
- ② Excellent! 装備もさることながら、日本の消防は大変高い意識と技術を持っていると思う。
- ③ 心肺停止状態の傷病者の蘇生率を上げるために、より一層訓練をすればよいと思う。
- ④ 日本の消防行政は大変優れていると思うので、もっと他の行政機関にアドバースすれば良いと思う。

◆山本由佳里さん(大阪府・右側)



- ① 訓練がスクリーンに映し出されるため、テレビで観戦しているようでとてもわかりやすい。
- ② 「迅速」かつ「丁寧」。
- ③ 救助される方にとって、強く、優しく、頼りになる存在であってほしい。
- ④ 一般の方は、救助隊員がこのような訓練をされているということを知らない人が多いので、この大会をもっとアピールしてもいいと思う。

◆鈴木左奈恵さん(福島県・後列左側)



- ① 全国大会は初めて見たが、施設の規模がすごいと思った。
- ② 毎日の訓練、大変な苦労様！
- ③ 人々のためにこれからもがんばってほしい。
- ④ このような大会が大勢の救助隊員の励みになり、私たちが一層安心して暮らせるようになると思うので、これからも努力してほしい。

◆山西佳子さん(兵庫県)



- ① 全国大会を見学したのは初めてだが、施設が整備されていて、とても見やす

- ① 自分の損得などにこだわらない仕事をする人たち。命がけで誇りを持てる人たちの集団。
- ② これからも市民を守るためにがんばってほしい。
- ③ この大会によって消防隊員の心意気も高まってくるのではないかと思う。隊員の技術向上のため、さらにがんばってやってほしい。来年も楽しみにしている。

◆山名幸恵さん(埼玉県・右から三人目)



- ① 家族で初めて見に来たが、救助隊員の素晴らしい機敏な動きと普段見られない救助技術を見て、子どもたちもビックリしていた。会場内の熱気に人命救助の大切さを改めて実感した。
- ② 子どもたちからは「消防車だー!」と憧れられるが、本当に命がけの厳しい仕事だと思う。
- ③ ケガをしないで訓練を続けていただけ、一秒でも早く市民の命と財産を災害から守ってもらいたい。
- ④ この大会をテレビ放映し、もっとたくさんの人たちに見てもらえるようにすれば良いと思う。

◆岩部彩美さん(香川県・左側) 隼斗さん(右側)



- ① みんな泳ぐスピードがとても速くて迫力があつた。
- ② 火事を消したり、苦しんでいる人を助けたりして大変そうだけど、がんばってほしい。
- ③ 消防の人をもっと増やして、毎日訓練して、困っている人をたくさん助けてほしい。

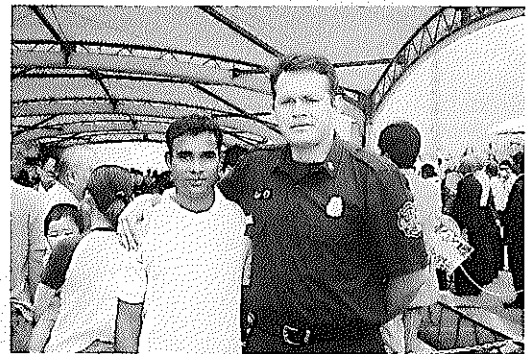
◆チェマさん(コスタリカ)

- ① 信じられない「技」だ。とても興味深く拝見させてもらった。会場の運営方法も素晴らしい。
- ② 最高の職業だ。
- ③ 救助技術や隊員の規律なども含めて、日本で学んだことを自国に持ち帰り、広めたい。
- ④ この大会に深い印象を持った。とにかく驚いた。

◆リファウさん(モルディヴ)

- ① とても素晴らしい。
- ② 日本の救助技術は、とても進んでいると感じた。
- ③ 優れた救助技術を学んでいきたい。そのために、日本の消防とより親密な関係を築きたい。

④ 日本の消防は、すべての面で素晴らしい。よく管理されている。



リファウさん(左側)

チェマさん(右側)

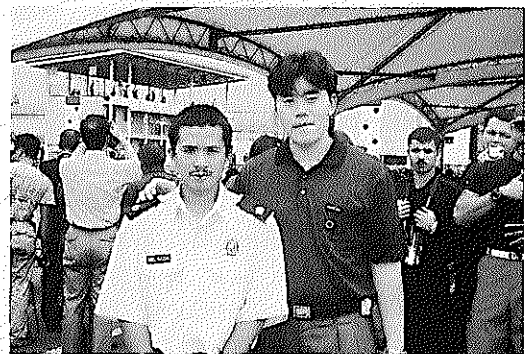
◆ファンさん(中国)

- ① とても素晴らしい。非常に興味深い大会だ。
- ② 人を助けることは、とても大切な業務である。
- ③ 私たちは研修で来日しているが、日本の近代的な救助技術や指揮体制について勉強した。これからもご協力をお願いする。
- ④ この大会が成功裏に終了することを祈念する。

◆ラーザさん(マレーシア)

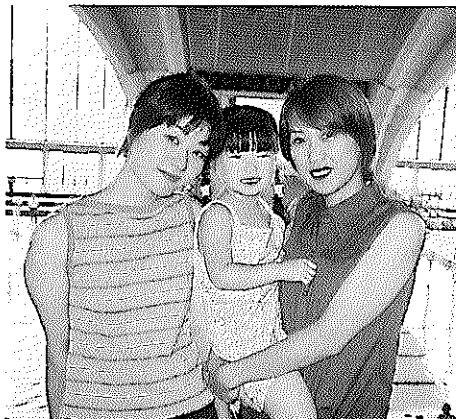
- ① 自国の救助体制と全く違う。隊員たちは皆、タフだと感じた。これらの訓練の方法をぜひ学びたい。
- ② 自国の救助技術と比較すると、日本の技術はとてもレベルが高い。ロープ渡過等の救助方法がとても素速い。
- ③ 日本の救助隊は様々な災害に柔軟に対応できると聞いている。自分たちもそういう点を吸収したい。
- ④ 日本の救助隊のさらなる技術の向上に注目したい。

◆渡部かおりさん(広島県・右側)



ラーザさん(左側)

ファンさん(右側)



- ① 普段はなかなか見ることのできない救助技術の数々を見せていただき、とても感動した。
- ② 「死」と隣り合わせの、命がけで大変な仕事だと思う。
- ③ 日々の訓練を活かして、がんばってほしい。
- ④ ケガに気をつけて、がんばってください。ずっと消防を応援しています。

① 今回初めて見に来たが、かなりの熱
 気があり、日頃の訓練の成果を垣間見
 ることができて良かった。
 ② 信頼感があり、逞しいイメージ。
 ③ この大会等を通じ、これからの資質
 向上を図り、がんばってほしい。



◆中村美衣子さん(滋賀県・左側)

① 四国の大会も応援に行ったが、全国
 大会のレベル、迫力はすごい！
 ② 自分に厳しく、絶え間なく鍛え上げ
 ているという感じがする。
 ③ より一層のレベルの向上に努めてほ
 しい。
 ④ 消防職員の方が精一杯がんばってい
 る姿をもっと多くの人に見てもらえ
 るよう、この大会を土、日曜に開催した
 方がいいと思う。



◆岡田真由美さん(徳島県)

これまでの大会経過

- 第1回 昭和47年9月28日
東京都 豊島園
- 第2回 昭和48年9月21日
大阪市 扇町公園
- 第3回 昭和49年9月18日
横浜市 県立保土ヶ谷公園
- 第4回 昭和50年9月10日
東京都 平和島公園
- 第5回 昭和51年9月10日
名古屋市 白川公園・瑞穂プール
- 第6回 昭和52年8月18日
横浜市 消防訓練センター
- 第7回 昭和53年8月22日
千葉市 県消防学校
- 第8回 昭和54年8月24日
大阪市 消防学校
- 第9回 昭和55年8月29日
名古屋市 白川公園・瑞穂プール
- 第10回 昭和56年8月19日
横浜市 消防訓練センター
- 第11回 昭和57年8月19日
横浜市 消防訓練センター
- 第12回 昭和58年8月19日
大阪市 大阪城公園・消防学校
- 第13回 昭和59年8月24日
名古屋市 白川公園・瑞穂プール
- 第14回 昭和60年8月23日
広島市 中央公園・県立屋内プール
- 第15回 昭和61年8月22日
神戸市 市民防災総合センター・神戸市王子プール

- 第16回 昭和62年8月21日
千葉市 県消防学校
- 第17回 昭和63年8月19日
横浜市 消防訓練センター
- 第18回 平成元年8月25日
名古屋市 白川公園・瑞穂プール
- 第19回 平成2年8月24日
広島市 中央公園・ファミリープール
- 第20回 平成3年8月28日
大阪市 消防学校
- 第21回 平成4年8月28日
千葉市 県消防学校
- 第22回 平成5年8月20日
福岡市 アジア太平洋センター建設用地
県立総合プール
- 第23回 平成6年8月25日
京都市 消防学校
- 第24回 平成7年8月25日
北九州市 北九州市文化記念公園
- 第25回 平成8年8月23日
札幌市 札幌市消防訓練場・札幌平岸プール
- 第26回 平成9年8月22日
千葉市 県消防学校
- 第27回 平成10年8月28日
大阪市 消防学校
- 第28回 平成11年8月19日
横浜市 消防訓練センター
- 第29回 平成12年8月18日
熊本市 市総合屋内プール(アクアドームくまもと)

大会ダイジェスト





第20号

平成13年 9 月25日発行

編集 発行 (財) 全国消防協会

〒102-8119 東京都千代田区飯田橋3-11-13
(飯田橋豊国ビル) 電話03(3234)1321(代)